



6月定例会  
**一般質問**



### 富士山の世界遺産登録後の西富士道路の状況について

望月：世界遺産登録後、約一年経過した西富士道路の状況について伺う。  
部長：世界遺産登録前一年間と登録後一年間の交通量は、約7%増えている。また、年間のピークの8月での比較は、約6%増えている。  
望月：沿線周辺土地利用を緩和しては？  
部長：観光面では、世界遺産センターまでの沿道利用では、沿線サービス施設の立地誘導を図る。工業系では、新富士インターから岳南北部幹線かけて、新たな産業業務機能の導入を図る、新産業転換ゾーンとなる。

### 駐車場問題について

望月：せせらぎ公園の広場の今後について  
部長：県の富士山世界文化遺産センターとの一体的利用が示されていることから、駐車場の大幅変更が求められる。代替機能を旧 JR 電留線跡地にもたせることを検討している。  
望月：旧電留線跡地の駐車場整備は、世界遺産センター用で、観光や買い物客用とは違うのではないかと。  
部長：世界遺産センターの建設に伴い、駐車場機能が失われてしまうので電留線跡地に求めて行きたい。



9月定例会  
**一般質問**

### 富士宮市立病院の今後

望月：整形外科の医師さえ確保すれば、富士宮市立病院は立て直しができるのか。  
院長：根本的には、整形外科の診療体制が縮小し、収支のバランスが崩れている。これを取り除けば改善できると思う。もう一つは、麻酔科の問題で現在1名で、これ以外の待機体制は、民間から援助を受けている。来年度はかなり高い確率で、もう一人増え、2名体制になれば改善できる。  
望月：私が議員になり、幾度となく診療科の縮小が問題となっているが、医師不足や偏在の問題が解消されない限り、根本が変わらないのではないかと。  
院長：これは当病院だけの問題ではない。医師を増やす取り組みや、地域支援の予算をばらまいたりしているが、全然よくなっていない。国全体がもう少し考えるべきである。  
望月：私たちにできることはあるのか。  
院長：病院の市民健康講座を開催しているが、盛り上がりには欠ける。議員の皆さんと市と市立病院と市民が協力して地域医療をやっていく必要がある。草の根運動のようなものであるが、地道にいくしかない。